

令和8年度事業概要

事業名		認知症総合支援事業（地域支援体制の強化）		（歳出：4－3－7）	
令和8年度当初予算	47千円	事業実施主体	蔵王町	事業開始年度	R3年度～準備 R5年度～開始
補助・単独の別	補助	補助率	国25% 県12.5% 町12.5% 第1号保険料23% 第2号保険料27%		
根拠法令等	介護保険法 地域支援事業実施要綱 蔵王町地域包括支援センター設置要綱 認知症施策推進大綱 認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）		令和8年度事業概要・補助基準等	① チームオレンジとしての地域活動 担当地区内の認知症の方やその疑いのある方及び家族への支援を行い、必要時専門職へつなげる活動を行う。また、ケアマネジャーや町内のグループホームや認知症（予防）カフェ等と連携・協力し、認知症に関する普及啓発活動を行う。	
事業目的	地域住民が認知症の基礎知識や、地域の社会資源等について学ぶことで、認知症の人とその家族のニーズと地域での支援をつなぐ仕組みづくりをする。			② チームオレンジステップ・フォローアップ研修 チームオレンジメンバーを対象に、支援への対応力向上を目的とした研修会を開催する（年1回）。	
事業概要・補助基準等	地域の認知症サポーターがステップアップ研修を受講し、チームオレンジのメンバーとなることで、早期からの認知症当事者とその家族への支援を行う体制づくりをする。 認知症の基礎知識、具体的な対応方法、必要な社会資源を考えることにより、チームオレンジのメンバーとなる研修を実施。チームオレンジの意義と役割を理解し、主体的に支援できる人材を養成する。				
関係資料	【実績】				
	<ul style="list-style-type: none"> 「蔵王町民生・児童委員連絡協議会」の名称で、令和6年2月から非拠点型のチームオレンジ活動が発足した。 ステップアップ研修 				
	開催日	内容	講師	参加人数	
	令和5年	認知症対応研修会	キング・D・サービス 管理者 高橋 祐也 氏	35名	
令和6年	講演 「認知症と共に生きていくためにこころがけていること、周りの方に心がけてほしいこと」	認知症の人と家族の会 宮城県支部 当事者：安積信政氏 支部代表：若生榮子氏	35名		
令和7年	事例紹介「認知症の方への支援について」	事例提供者 谷山介護支援センター 水戸倫代 氏	35名		
<ul style="list-style-type: none"> 活動報告実績（個別対応、地区民からの気になる方の情報を毎月報告） 					
年度	地区数	延人数	報告受理後の経過		
令和5年 (2、3月)	3	3	保健師の訪問でフォロー、介護サービスにつなぐ。		
令和6年	10	13	担当ケアマネジャーに報告し、支援継続、保健福祉課職員による訪問へつなぐ等		
令和7年	7	14	担当ケアマネジャーに報告し、支援継続、保健福祉課職員による訪問へつなぐ等		
※個別対応だけでなく、認知症に関する行事等の支援活動もお願いしたいと考えている。					